

鳥海ダムだより



2002.8
創刊号

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所



「鳥海ダムだより」 発刊にあたって

鳥海ダム調査事務所長

遠藤 真 一

当誌が発刊の運びとなりましたこと、まずもって関係各位に心胆の感謝を申し上げます。

さて、本鳥海ダムが立地する予定の本荘由利地域は、たいへん自然に恵まれ、今年も山や海など各地で、緑や青が咲き乱れております。ということで、平成5年に当事務所が設置されて以来、職員一同一丸となって自然環境に十分配慮した、効果ある多目的ダムの建設のため、調査の進捗に邁進しております。

また、子吉川が急流で洪水氾濫被害の多いこと、本荘市を始めとした当地域の渇水対応の必要性・緊急性があることなど、ますます当ダムの必要性は高まってきていると、改めて確信しております。

さて、「鳥海ダムだより」創刊につきまして、若干ご説明いたします。当事務所の所内報については、従来、一工夫しまして「座・鳥海」という地元手作りの年報を刊行しておりました。これは、既に伝統ある酒田工事事務所に「広報鳥海」という名称を持っていつてしまわれてい

る、ということとは関係ありません。

通常、県内スポーツレクなどで、活躍があると、所内報に笑顔の集合写真が掲載されます。一昨年、小事務所ながらも、森吉山ダムや秋田工事有志のお力添えを得つつフットサルやバスケットで2位・3位入賞できたのですが、各自の机にひっそりと写真が飾られるのみということになっております。このようなことの解消もありますが、第一義的には広く地域の皆様への情報の発信を狙いまして、この度の発刊となりました。

特に、当事務所新組織であります補償調整課が全力を挙げて取り組んでいることはこのような理由によるところであります。

では、本誌が今後とも更に発展・継続してコミュニティの実があがりますことをご期待申し上げます。発刊に寄せる言葉と致します。

今後ともご愛顧方、よろしくお願い申し上げます。



平成14年度鳥海ダム事業説明会開催

4月24日、鳥海町百宅「防雪センター」において、鳥海町百宅地区の方々を対象に、事業説明会を開催し、当事務所の事業概要、今年度の各種調査内容について説明を行い、鳥海ダム事業について理解と協力をお願いしました。

今年度の当事務所の主な調査内容は、以下のとおりです。

- 鳥海ダム猛禽類実態調査
- 鳥海ダム水位観測装置保守点検
- 鳥海ダム環境調査
- 治水利水計画検討
- 鳥海ダム採水及び流量観測
- 鳥海ダム水質観測装置点検
- 鳥海ダム地質調査



事務所長あいさつ



鳥海町（建設商工課長）あいさつ



調査設計課長による事業概要の説明



調査等の詳しい内容については、この「鳥海ダムだより」で紹介していきます。



環鳥海地域づくり円卓会議開催

6月18日、仁賀保町「ホテルエクセルキクスイ」において環鳥海地域づくり円卓会議が行われました。この円卓会議は、「鳥海山」をランドマーク（目印や象徴になっている建造物など）に由利本荘、鳥海、酒田、庄内中央、新庄、湯沢の各青年会議所が集結して生まれた環鳥海地域づくり研究会の活動成果、課題を話し合うため、今回初めて円卓会議として開催されました。当日は、秋田大学清水教授を会長とし、東北地方整備局大内企画部長や関係6事務所長も出席しました。

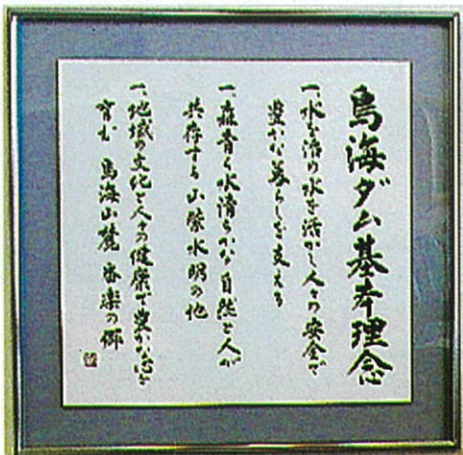
第1回目となった今回の会議では、「環鳥海地域づくり研究会の今後の展開について」、「国土交通省の取り組みや協力について」、「環鳥海での活動取り組みについて」、「今後の討議と作業について」などが話し合われました。

今後は「環鳥海として事業をやるとすればどんな形があるか」、「組織をどのようにするか」をテーマに掲げ、資料を整理し次回は9月頃開催の予定です。



鳥海ダム紹介

鳥海ダム基本理念



鳥海ダム調査事務所では、地域に密着したダムづくりを進めるために、「鳥海ダム基本理念」を制定しています。これは地域の声として寄せられた各種意見から、治水・利水・環境・人間形成・文化・親自然の6つのキーワードを基にとりまとめたものです。

- 一、水を治め水を活かし、人々の安全で豊かな暮らしを支える
- 一、森青く水清らかな、自然と人が共存する山紫水明の地
- 一、地域の文化と人々の健康で豊かな心を育む、鳥海山麓番楽の郷



子吉川フェア開催

7月6日と7日、本荘市「アクアパル」において子吉川フェアが行われました。この子吉川フェアは、川を知り、川に親しみを持ち、愛されるふるさとの川作りを進めていくための流域交流の場となることを目的に開催され、今回で7回目となります。

今回のフェアでは、1日目に「水と環境のフォーラム」が、2日目にはアクアパル館内及び周辺施設にて、各種イベントが行われました。

1日目の「水と環境のフォーラム」では、子吉川市民会議（子吉川をきれいにする会）主催のもと、総合的な学習の一環として本荘市立新山小学校5年生有志の発表、本荘第一病院 小松寛治院長による基調講演「心身の健康と癒しの川」、参加者との意見交換が行われました。



本荘市立新山小学校5年生による発表「子吉川学ぶ」



小松院長による講演



木谷委員長（右）と阿部十全氏

2日目は、子吉川フェア実行委員会 木谷豊四委員長の開会宣言に始まり、「子吉川に係る標語・絵画コンクール」の表彰式、フリーマーケット、市町物産コーナー、各種パネル展、親子船上観察、カー教室、魚つかみどり大会などが行われました。

2日目の各種イベントを写真で紹介します



石脇西保育園鼓隊演奏



標語・絵画表彰式



つくってあそぼう (左: 押し花、右: シュリンクシート)



フリーマーケット



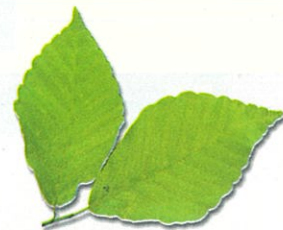
魚つかみどり大会



消防放水体験



「楽しい電気実験」コーナー



鳥海町新緑まつり盛大に開催



鳥海町長開会のあいさつ



百宅そば早食い大会



鳥海ダムコーナー



お楽しみコーナー



当所長発声による万歳で閉会となりました



今年のミス鳥海のお二人です

6月2日、鳥海町「健康広場」において、鳥海町主催の新緑まつりが開催されました。当所でも会場の一角に鳥海ダムコーナーを開設して鳥海ダムのPRを行いました。詳しくは当所のホームページでもご覧になれます。

アドレスは、 <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai> です。ぜひ一度ご覧下さい。



鳥海ダム 調査内容紹介

鳥海ダム地質調査について

鳥海ダムでは、ダム候補地及び周辺地盤における地質構造の把握と、ダムの基礎となる岩盤を特定し基礎岩盤として適切であるか、さらにはコスト縮減や環境に配慮し、周辺に存在する河床堆積物がダムの堤体材料として使用可能か、ボーリング調査をはじめ各種試験等を行い、ダム設計における情報収集を行っています。

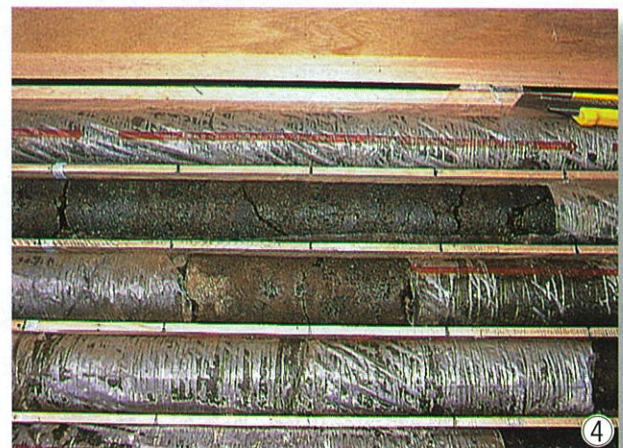
今年度も2本（1本あたり130m）のボーリング調査を行っています。



①はボーリングマシンと足場の全景です。このボーリングマシンにロッド、コアチューブ、ビット等を建て込み、回転させながら地盤を掘っていき、コアチューブにて地盤を採取します。鳥海ダムの地質調査では、ボーリング1本あたり約100mから150mまで採取し調査します。

②③のようにモノレールを設置して作業機材や作業員を運搬することもあります。

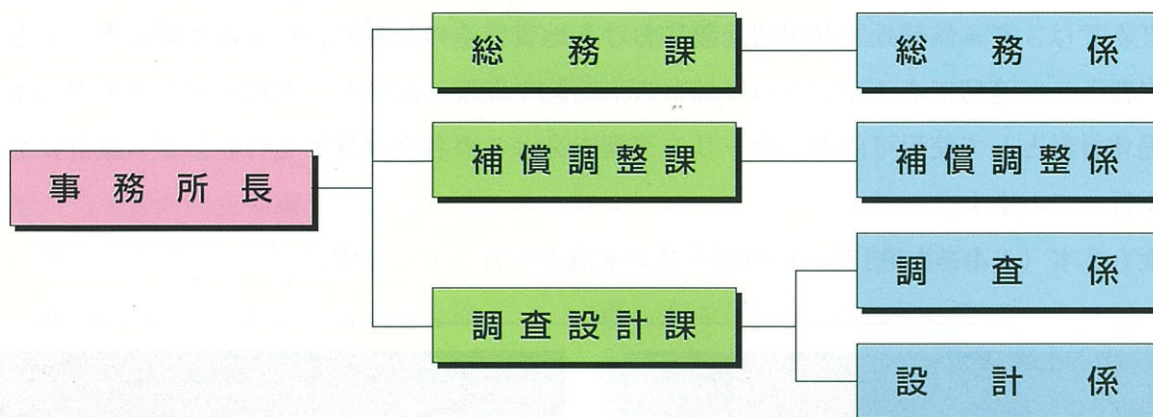
④は採取された地盤のコアです。安山岩自破碎溶岩と判断されます。ボーリングした箇所がダム本体が取り付く部分なため、ダムで水を貯めた際にかなりの水圧が地盤にもかかることから、この岩盤が透水性があるか「岩盤透水性試験（ルジオンテスト）」を行います。



事務所紹介



平成14年度鳥海ダム調査事務所組織図

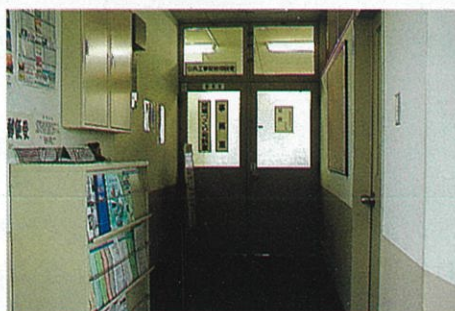


今年度より補償調整課が新設され、三課体制となりました。各課の主な業務内容は次のとおりです。

- 総務課** — 職員の給与・福利厚生、業務委託等の入札・契約、庁舎の維持管理
- 補償調整課** — 生活再建対策業務等、鳥海ダムの用地補償に関する業務
- 調査設計課** — ダム周辺における動植物の環境調査、ダム計画の基礎となる水理・水文・水質調査、治水・利水計画の策定、ダム型式の設計・検討



事務所全景



事務所入口

編集後記

今年度、「鳥海ダムだより」の編集を担当することになりました。不慣れなため、至らぬ点が多々あるかと思いますが、よろしくお願いします。

今回は、創刊号として、所長の発刊に寄せる言葉、4月から6月までの行事と子吉川フェアを中心にお知らせしました。

次回は、7月から9月までの行事を中心にお知らせする予定です。

今後も季節毎には、発行できるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いします。

担当 補償調整課

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp